

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ヒトツナ大袋教室 児童発達支援		公表日		2026年3月6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・静養室などを適宜活用しながら、すべてのお子様安心して過ごせるよう環境を工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・加配をつけて対応しています。 事故などがないよう、お子様が居る場所に職員が適切に配置されるよう、立ち位置などを打ち合わせています。	・法令基準は満たしていますが、児童の状態が重なる場面や送迎時間帯などで支援密度の確保が課題と感じる声がありました。 職員間の連携強化や配置の工夫により、より安定した支援体制を整えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・お子様に分かりやすい物の置き場所等の構造化、視覚化を推進しています。	・より構造化された分かりやすい環境設定に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・古さはございますが毎日消毒、清掃を行い、心地よく過ごせるよう環境整備を行っています。 ・定期的に業者による床清掃が入っています。 ・活動やお子様の状態に合わせてパーティションを設けるなど工夫しています。	・引き続き心地よく過ごせる空間づくりに努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・静かに過ごしたい、クールダウンしたいなどのお子様の意思に合わせて相談室等の使用を許可しております。 面談等でお部屋が使用できない場合の居場所の担保は課題として挙げられますが、パーティションなどの仕切りを用いて空間を作るなど工夫をしています。	・より一層個々のお子様に合わせた空間づくりを検討し、安心して過ごせる教室を目指します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・毎朝の朝礼や月1回定期的なミーティングの時間を取っています。 職員の意見を幅広く聞き、業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎年、評価表の内容をもとに重点的に取り組んでいく視点を話し合っております。保護者様のご協力まことにありがとうございます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・心理的安全性の確保に努め、意見を積極的に受け止め業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・現在はお子様、保護者様と社内の二者評価をとっております。外部による第三者評価は実施しておりませんが、会社内での体制として客観的なスーパーバイズをもらう機会は多く、都度業務改善につなげられています。	・外部による第三者評価は、今後必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・標準月2回、ZOOMにより研修を実施しています。 ・年2回、全社で全体研修が開催されています。 学びあう環境を整え、知識やスキルをお子様に還元できるようにしています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・毎月、お子様の状態像やガイドラインに基づく5領域のねらいを踏まえて、職員間で意見を出し合い幅広く様々な経験を担保できるよう作成し、決められた日程内に公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・日々の行動観察、保護者様からの聞き取りといったインフォーマルアセスメント、検査等のフォーマルアセスメントを組み合わせ、視点の偏りがないように客観的な分析を行っています。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・児発管の独断で作成せず、広く職員の共通理解を図りながら作成を行っています。「子どもの最善の利益」は職員間でスローガンとして掲げ、常にその時のそのお子様の最善の利益を追求する姿勢で支援の検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・作成した支援計画は職員間で共有を必ず行っています。計画に沿って支援が展開できるよう共通理解を進めています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・職員の主観に偏ることがないように、「SM社会生活能力検査」「JSI-R」などの標準化されたフォーマルアセスメントツールを実施しています。日々の行動観察をもとに都度支援の検討を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・各支援内容からお子様の支援に必要な項目を選択し、具体的な内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・活動プログラムは、職員で担当を割り振り、チームでPDCAを回しながらより良いプログラムになるよう適宜話し合いを行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・2025年度より作業療法士が常勤で配置され、経験5年以上保育士、非常勤の言語聴覚士、理学療法士による「専門的支援」として個別活動の充実化を図りました。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝の打ち合わせや情報連携ツールを用いて、支援内容や役割分担、配慮事項について全員が共通理解のもと動いています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・翌日朝の打合せにて前日の支援の振り返りを行っています。	・送迎前の限られた時間の中では児童の情報共有が中心となり、支援方法（職員の関わり方や指示の出し方等）についての振り返りが十分に行えない場合があると感じています。今後は、支援の質向上を目的とした職員向けの振り返りやフィードバックの機会を計画的に設けてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・お子様の適応行動の状況や日々の行動観察については毎日支援記録をつけています。またそれを踏まえた支援のPDCAを朝礼等で確認しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・個別支援計画の更新ごとに見直しを行い、必要に応じて計画修正を行っています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児発管だけでなく、主にそのお子様の支援に入る職員が同席するなど配慮しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・特に保育・教育の関係機関との連携を強化しております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・園との連携体制を強化しております。移行支援の一環として関係機関連携や訪問支援を積極的に行い情報共有と相互理解を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・関係機関連携加算Ⅳの「就学支援シート」作成を昨年度から実施しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7			
	(31は、事業所のみ回答)					

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		・可能な限り参加させていただいております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・地域の公園での「ヒトツナパーク」の取り組みを全社として実施しております。	・保育所等との直接的な交流機会は現時点では設けていません。今後、子どもたちの安心や特性を踏まえながら、無理のない形で地域との関わりを広げていけるよう検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・日々の支援記録の公開、送迎時の申し送り、面談時の現状の共通理解等を通じて、保護者様との連携に努めております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・2025年度実施実績がございます。次年度も開催予定です。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に丁寧な説明に努めています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・ニーズを踏まえて、子どもの最善の利益を第一に考えた計画作成に努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・計画に基づいた支援の説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・半年に一度の支援計画面談に加え、ご家族様のお悩みに応じて随時面談機会を設定しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・2025年度保護者会実施実績がございます。横のつながりからピアサポートに繋がるような支援機会を今後も設けていきます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情受付担当者、解決責任者を適任し適切な対応体制を整えております。苦情があった場合は迅速に解決に向けて動いております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・HP、SNS等積極的に更新を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	・鍵付き書庫内での保管、シュレッダー処理など留意しております。	・より一層の配慮と確認の徹底が必要であるとの意見がありました。引き続き職員間での意識共有を図り、安全管理を強化してまいります。
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・視覚的な情報提供やLINE、電話、連絡ツール、書面などを使い分け合理的配慮を推進しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・「ヒトツナパーク」等の取り組みを通じて地域に根差した事業所運営を目指しております。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・各種マニュアルは策定し契約時にご説明をさせていただいております。訓練も法令に基づき定期的に行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPを策定しそれに基づいた訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・契約時に必ず確認し周知しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・契約時に必ず確認し周知しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画を作成し、必要な研修や訓練を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・安全計画に基づいた取り組みを行っております。実施内容については連絡ツールやSNS等で周知を図っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットは必ず共有し再発防止に向けて迅速に動いております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止に関わる責任者を適任し、虐待防止委員会の開催、虐待防止研修の実施を必ず行っております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・身体拘束に関する検討は必ず行っております。必要に応じて計画への記載も行っております。		